



第2学年 「時こくと時間」 渡部 翔平 教諭  
夏休みを間近に控えた子供達に、時刻や時間を日常生活の中で活かして欲しい！時計を見てよりよく生活できるようになってほしい！という思いをもって、子供にとって必然性のある場面設定とは？数学的な見方・考え方を働かせることができる学習活動とは？などを考えながら取り組まれた授業提案でした。

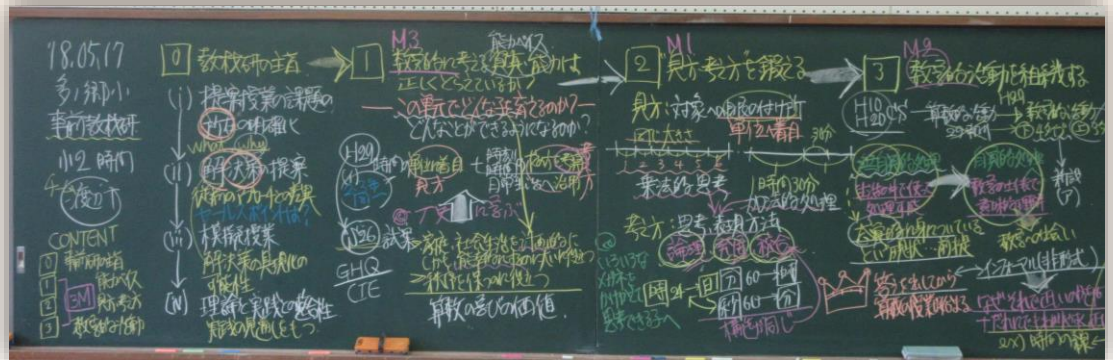
「答えを保障した上で学びを進めていっていいのか」「子供にとって必然性のある文脈だったか」「式で表すことが2年生にとって必要か」という3つの視点で協議しました。他校からの参加者とともに意見を出し合い、有意義なグループ協議になりました。



新学習指導要領が目指す能力ベースの考え方から授業を描く！

60秒→1分、60分→1時間、24時間→1日というように六十進法、二十四進法に着目させ、数がまとまれば新しい単位が登場する構造になっていることを統合的に見つめられるようにすることが大切であるとともに、答えを出した後でなぜそれが正しいのかを分かりやすく相手に伝えることを大事にした授業づくりをしていくべきであること指導いただきました。

齊藤一弥  
学力向上総括  
専門官による  
指導板書



授業者の声

齊藤先生に講話をしていただき、その学びがさらに深まった。悩んでいたところを順序立てて説明していただいたので、この学びを7月の授業実践に活かせるよう明日から取り組みたい。

参会者の声

私たちの生活で普段無意識に考えている時刻と時間について子供達の目線に立ち、どういう授業づくりをしていかなければならないかについて深く学ぶことができた。【上分小 古谷祥子教諭】

多ノ郷小学校では単元計画を見直すことから取り組もうとしています。  
次回は **7月11日(水)**  
**13時50分授業開始**です！  
ぜひご参加ください！

